

# 令和6年度当初予算 概要

令和6年2月  
子ども家庭局

## 1 令和6年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和6年度 当初予算案(A)	令和5年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
一般会計	71,244	68,720	2,524
母子父子寡婦福 祉資金特別会計	160	177	▲ 17
合計	71,404	68,897	2,507

※職員給与費を除く

## 2 主要施策

### 働く親へのサポート強化

#### 新規 シン・子育てファミリー・サポート事業 【11百万円】

子どもの預かりや送迎を行う相互援助活動をより利用しやすい仕組みとするため、報酬額及び利用料を改定するとともに、民間と連携した預かり場所の拡大や、送迎支援体制の強化に向けたモデル事業を実施

報酬額の増、利用額の減(実施イメージ)



報酬額 (1時間あたり)

800円 → **1,000円**

提供会員

報酬額改定で  
提供会員の増



利用料 (1時間あたり)

800円 → **500円**

依頼会員

ワンコインで  
利用可能

預かり場所の拡充(実施イメージ)



民間企業の空きスペースでの預かり



提供会員



提供会員

#### 新規 送迎保育ステーション試行準備事業 【3百万円】

保育所等を利用する保護者の送迎の負担を軽減するため、保護者に代わり児童の送迎を行う送迎保育ステーションの試行に向けた準備を実施



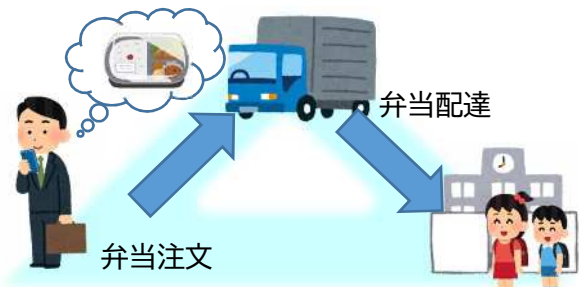
#### 新規 放課後児童クラブ長期休暇等利用支援事業 【10百万円】

長期休暇期間中等における保護者の負担を軽減するため、8時30分より早い時間からの受入れを促進するとともに、期間中における昼食提供の支援をモデル実施

○ 8時30分より前の開所を促進



○ 昼食支援をモデル実施



こどもまんなか city の推進

新規

こどもまんなか city 推進事業

【9百万円】

社会全体で子どもや子育てを応援する気運を醸成するため、「こどもまんなかアクション」の実践や、情報発信の強化、「(仮称)子ども憲章」の制定等を実施

●「こどもまんなかアクション」の実践

【「こどもまちなかスペース」の展開】

子どもが遊び、集い、自由に過ごせるスペース(空間)を、公園や市民センター等の公共施設や、民間事業者等にも協力いただき、市内各所に展開

(イメージ) 思いっきり公園

わいわい市民センター

たまりスペース など



子どもが思いっきり遊べる、憩える公園



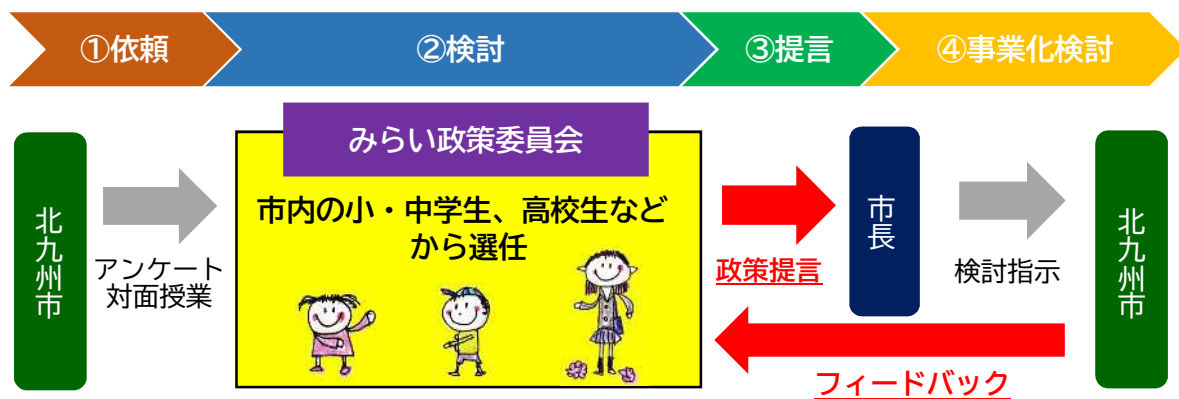
市民センターのホール等を子ども専用定期的に開放



民間事業者等の協力で、街なかに子どもや若者が集える場所を提供

【みらい政策委員会制度】

市の施策に子どもの意見を反映し、提案を事業化



【かなえるポスト】

子どもから市長へ「かなえたいこと」を伝えるポストを設置



【こどもまんなか応援サポーター】

子連れの方が利用しやすい飲食店等にステッカーを表示



(主な表示場所)

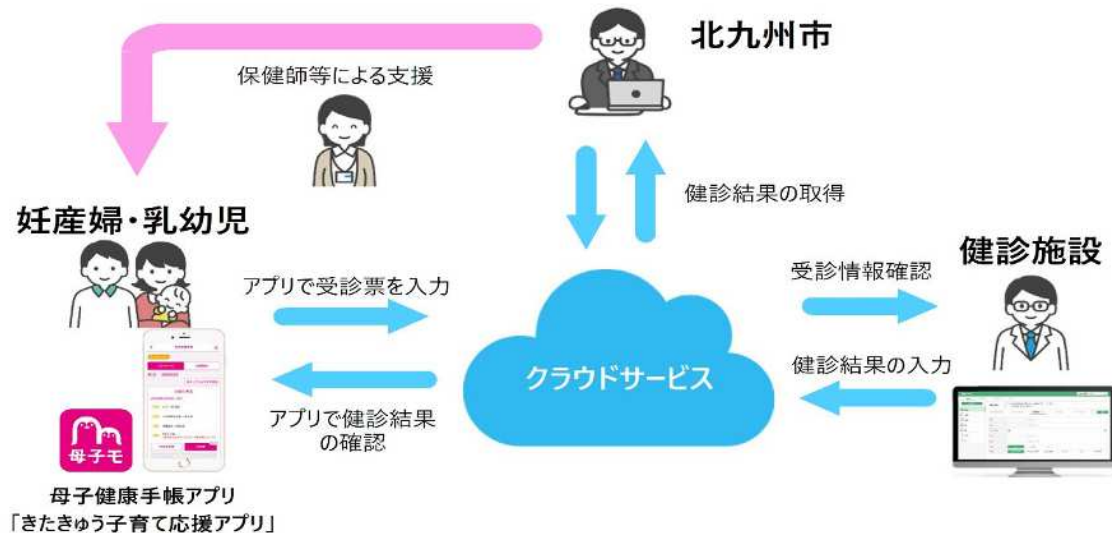
- ・飲食店
- ・駐車場
- ・公園 など

## DX推進による子育てサポート

### 拡充 妊産婦健診等DX推進事業

【30百万円】

母子健康手帳アプリを活用し、妊産婦健診、乳幼児健診等の子育てにかかる手続きをICT化することで、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施



## 配慮を要するこどもの支援

### 拡充 特別保育事業補助（障害児保育の保育士加配基準の拡充）

【254百万円】

近年増加傾向にある特別な配慮を必要とする子どもを支援するとともに、障害児保育に従事する保育士の負担軽減を図るため、障害児保育事業における保育士加配基準を拡充

【これまでの制度】

【令和6年4月から】

- ・ 障害児2名に対し、  
保育士1名又は  
5時間パート保育士2名を配置

- ・ **障害児1名**に対し、  
5時間パート保育士1名を配置



## こどもの居場所づくり

### 新規 プレーパーク普及促進事業

【3百万円】

子どもの健全育成に資する外遊びの場を市内の各地域に展開

【実施イメージ】



中間支援組織と連携し、地域住民等が主体となって開催するプレーパークの活動を支援

## きたきゅうマタニティギフト

### 新規 きたきゅうマタニティギフト事業

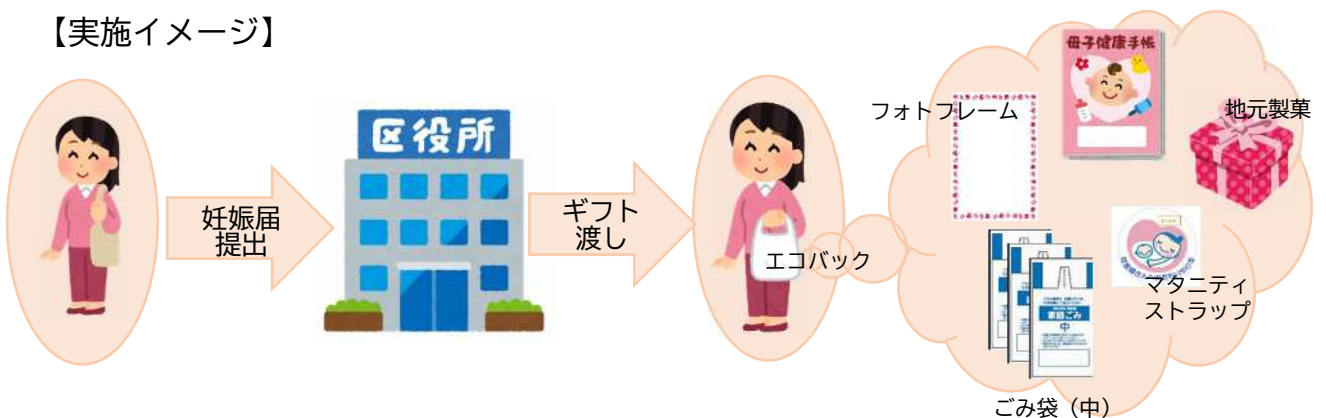
【15百万円】

妊娠届出で窓口に来所した際に、妊婦へ御祝いの気持ちを表すグッズを贈呈

#### 【ギフト内容】

- ・エコバック
- ・フォトフレーム
- ・地元製菓
- ・母子健康手帳
- ・ゴミ袋（中）3袋
- ・マタニティストラップ

#### 【実施イメージ】





### 3 主な事業

#### 「稼げるまち」の実現

##### ●稼げる「人」を育む

拡充 ・第2子以降の保育料無償化 832百万円

多子世帯の子育てを支援するため、第2子以降の保育料の無償化を実施  
※市が直接徴収している保育料収入の減(551百万円)と合わせ、1,383百万円を支援

新規 ・シン・子育てファミリー・サポート事業 11百万円

子どもの預かりや送迎を行う相互援助活動をより利用しやすい仕組みとするため、報酬額及び利用料を改定するとともに、民間と連携した預かり場所の拡大や、送迎支援体制の強化に向けたモデル事業を実施

新規 ・送迎保育ステーション試行準備事業 3百万円

保育所等を利用する保護者の送迎の負担を軽減するため、保護者に代わり児童の送迎を行う送迎保育ステーションの試行に向けた準備を実施

新規 ・放課後児童クラブ長期休暇等利用支援事業 10百万円

長期休暇期間中等における保護者の負担を軽減するため、8時30分より早い時間からの受入れを促進するとともに、期間中における昼食提供の支援をモデル実施

#### 「彩りあるまち」の実現

##### ●彩りある「空間」をつくる

拡充 ・妊産婦健診等DX推進事業 30百万円

母子健康手帳アプリを活用し、妊産婦健診、乳幼児健診等の子育てにかかる手続きをICT化することで、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援を実施

新規 こどもまんなかcity推進事業 9百万円

社会全体で子どもや子育てを応援する気運を醸成するため、「こどもまんなかアクション」の実践や、情報発信の強化、「(仮称)子ども憲章」の制定等を実施

##### ●彩りある「人」を育む

・保育所等における給食食材価格高騰対応事業 266百万円

コロナ禍以降続く食品の価格高騰を受け、子育て世帯の負担軽減の観点から、保育所等の給食費の値上げ相当分を支援

#### 「安らぐまち」の実現

##### ●子ども・子育ての「安心」を支える

新規 ・医療的ケア児保育支援事業 5百万円

保育所における医療的ケア児の受入れ体制を拡充するため、看護師の雇用など、受入れ体制を強化する民間保育所に対して助成を実施

- 拡充** ・病児保育の利用料無償化 23百万円  
 保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭などやむを得ない事由により、家庭での保育が困難な、病氣中、病氣回復期にある概ね生後3か月～小学6年生までの児童を一時的に預かる病児保育利用料の無償化を実施
- 拡充** ・特別保育事業補助(障害児保育の保育士加配基準の拡充) 254百万円  
 近年増加傾向にある特別な配慮を必要とする子どもを支援するとともに、障害児保育に従事する保育士の負担軽減を図るため、障害児保育事業における保育士加配基準を拡充
- ・子ども医療費支給事業 3,608百万円  
 子育てに関する経済的負担を軽減し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、18歳(18歳に達する日以後の最初の3月31日)までの子どもに対して、保険診療による医療費の自己負担額を助成
- 新規** ・きたきゅうマタニティギフト事業 15百万円  
 妊娠届出で窓口に来所した際に、妊婦へ御祝いの気持ちを表すグッズを贈呈
- 新規** ・子育て短期支援事業 8百万円  
 ショートステイなど子育て短期支援の利用を促進するため、専任職員の配置や里親の活用により積極的な受入れ態勢を確保するとともに、改正児童福祉法施行に伴い「親子入所支援事業」や「入所希望児童支援」を創設
- 新規** ・社会的養護自立支援拠点事業 16百万円  
 社会的養護経験者等の孤立を防ぎ、必要な支援に適切につなぐため、相互交流を行う場や、必要な情報の提供、相談・助言、関係機関との連絡調整等により、施設退所後のアフターケアを実施
- 新規** ・こどもの権利擁護環境整備事業 4百万円  
 児童養護施設等の被措置児童等に対するこどもの権利擁護の推進を図るため、意見表明支援員を入所施設等に派遣し、児童の意見又は意向の表明を支援するとともに、市児童福祉審議会を活用したこどもの権利擁護にかかる環境を整備
- 新規** ・プレーパーク普及促進事業 3百万円  
 子どもの健全育成に資する外遊びの場を市内の各地域に拡げるため、中間支援組織と連携して、地域住民等が主体となって開催するプレーパークの活動を支援

【問合せ先(全体に関すること)】  
 子ども家庭局総務企画課  
 川口(課長)、田津(係長)  
 TEL 093-582-2280